



防災訓練で消火器の使い方の練習をしたよ！（詳細＝P21）

特集 継承 風化させない、大地震の経験を糧に備える

猪名川町公式
ホームページ



TOPICS

- P 6 新春挨拶
- P 7 町制施行 70 周年記念事業
- P 8 ぶらりいながわ 北田原マス釣り場
- P22 特派員報告 里山のシンボル 台場クヌギを創造
- P24 瞬トキメキ 山下 隼之介さん

町の人口

総人口	28,674 人	(－ 28)
男	13,666 人	(－ 14)
女	15,008 人	(－ 14)
世帯数	12,481 世帯	(－ 1)

※令和 6 年 12 月 1 日現在、() は前月比

継承

風化させない、

大地震の経験を糧に備える



令和7年1月17日で、阪神・淡路大震災から30年が経ちます。この30年間で東日本大震災や能登半島地震など全国各地で大規模な地震が発生し、大きな被害がもたらされました。被災地の記憶を風化させないためにも、被災者の声を聞き、教訓からこれから起こる可能性のある地震について考え、備えましょう。

▶問合せ 生活安全課 (☎766-8703)



写真提供＝神戸市

平成最初の大地震

阪神・淡路大震災

(平成7年1月17日(火) 午前5時46分)



北村 義彦さん
(元町内小学校校長)

1月17日の早朝、西宮市の自宅から楊津小学校へ出勤のため顔を洗っている時だった。

いきなりドーンと下から突き上げられ、縦揺れと横揺れが起こり、その瞬間、食器棚やタンスが倒れ、壁が崩れた。ガラスや食器、土壁で足の踏み場も無くなり、家がねじれ、ガスの臭い、一瞬間の中が真っ白に。ふと我に返り、ガスを閉め、「ここには危ない、家族を避難させない」と思うや、ゴーと余震が…。近所の人々と近くの小学校の体育館に避難すると、もうすでに大勢の人が来ておられた。

家族を残し、勤務地の楊津小に電話するも通じない。ともかく学校へ行ってみないと様子が分からないため、部屋着に半纏で、車のキーを家の床の中から探し出し、家を出た。周辺の道路は、ブロック塀が倒れ、阪急沿線の上の国道171号線の陸橋が線路に落ちていた。別の道に行くも、踏

1995. 1.17 の早朝

切は電車が脱線し、通行不能。行く道は、1階が潰れ、車の上に2階以上の建物が重なっているなど…。やっこのことで、小学校に着くと、こども達はいくつものように静かに授業を受け、無事のようだった。先生方の家も無事のようだったので、後は任せ、家の片づけに帰らせてもらった。とりあえず、食糧確保と、コンビ二に寄るが、食料はもう既に少なくなっていた。

避難先の体育館では、15分間隔で余震が襲ってくる。誰もが安心して横になることができない状況であった。1か月程が経ち、猪名川町の人のご厚意で、空き家に住まわせて頂くことができるようになり、水の出る喜びに感激したことを思い出します。

このように大きい地震は、電気・水道・ガス・公共交通が使えない。そんな時に、人々は、お互いに支えあうことで助けられ、絶望の中から新たな力が生まれてくる。人の繋がりを大切にするのを体で味わった1年でした。この繋ぐ心を新設校(つじが丘小学校)の校歌に願いを込めた、「過去と未来、縦と横につないでほしい」と。

震源 兵庫県の淡路島北部
エネルギー・揺れの大きさ マグニチュード7.3、震度7
被害 死者・行方不明者 6千437人、住家被害 全壊10万4千906棟・半壊14万4千274棟 火災被害 全焼6千148棟

人と防災未来センター

同センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、防災・減災の実現のために必要な情報を発信している施設。館内では、展示解説、自らの震災体験を語る「語り部」、外国語対応など総勢159人のボランティアが交代で活動しています。

田中 康博さん (語り部) の話



阪神・淡路大震災発生前に、青白く空がピカッと光ったのを見た人が多くいたと聞いています。その後、3回上に突き上げるような大きな地震が発生しました。当

▶ところ 神戸市中央区脇
浜海岸通 1-5-2 (HAT
神戸内)
▶時間 9:30 ~ 17:30
▶休館日 月曜日、年末年始





命を守るための地域づくりを

震は、阪神・淡路大震災から、能登半島地震までに計6回もありま
す。いずれも大きな災害をもたら
していることは、住民の皆さんも
ご存じかと思います。

私は町職員として、阪神・淡路
大震災では被災地に水を届けるた
め、能勢町にある天然水工場の協
力を得て、水をポリタンクに詰め
る作業をしたり、支援物資や給食
センターで作ったおにぎりを被災



生活安全課
主幹 稲川 正彦
これまで
に日本で最
大震度7を
記録した地

災害の備え、できていますか？

地に配送したりしました。能登半
島地震では、災害派遣として5月
に珠洲市に行き、避難所運営の支
援をしてきました。こういった大
規模災害の恐ろしさについては、
被災地を体験する中で重く感じて
いるところです。

大規模災害時には、被災地の役
所や消防は手が足りないことや、
他自治体や警察・自衛隊の応援に
ついても道路事情や交通手段が限
られていたり、すぐに配備され
ることは困難です。これら「公助」
は、初動体制を取るのに一定の時
間が必要で、この状況は、猪名川町
においても同様であると考えてい
ます。このことから、発災直後は、
自身でできる「自助」、近所で助け
合う「共助」が非常に重要となり
ます。住民の皆さんには、災害を
正しく恐れ、災害時にはひとり
でも多くの人が助かる行動がとれる
ように、日頃から地域の連携を深
めることを心がけてください。私
たちも、継続した啓発やサポート
を進めていきたいと考えています。

✓ 家族で決めておこう

それぞれ別の場所にいる時に災害が起こった場
合、お互いの安否を確認する方法・集合場所を決
めておく。避難場所・経路を防災マップで確認し
ておく。連絡が取れない場合は以下のサービスの
活用を。

- ▶災害伝言ダイヤル（171）
- ▶携帯電話会社の「災害用伝言板」



✓ 非常持ち出し品と備蓄品の準備を

支援物資がすぐに届くとは限らないため、各自最
低限準備するもの。

- ▶3日分の加熱しなくても食べること
ができる食料
- ▶1日1人3Lの水



✓ 安全を確保しよう

シェイクアウト訓練



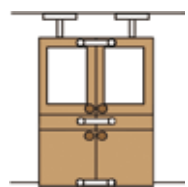
提供＝効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

シェイクアウト
訓練を実施し、ど
こで揺れを感じて
も「まず低く、頭
を守り、動かない」
を実践できるよう
に身につける。

✓ 室内での対策をしよう

近年発生した大きな地震でケガをした人の原因の
多くが家具類の転倒・落下などといわれているため、
しっかりと固定を。

- ▶「倒れるもの」対策 L型金具や専用の突っ張り
棒で固定
- ▶「動くもの」対策 ゲル状の粘着マットやキャス
ター下皿、着脱式固定ベルトなどで防止
- ▶「飛ぶもの」対策 観音開きの
扉は、揺れにより扉が開き中のも
のが飛び出る危険があるため開放
防止器具を
- ▶「割れるもの」対策 ガラスに
飛散防止フィルムを貼る



✓ 情報の収集方法を確認しよう

災害時に最新情報を得るために、事前に情報の入
手手段を確保。

- ▶いなぼうネット inagawa@bousai.net に空
メールを送信し、案内に従って登録
- ▶ひょうご防災ネットアプリ
アプリを次の二次元コードから
取得



▲iPhone



▲Android



被災地の今 能登半島地震(令和6年1月1日(月)午後4時10分)

令和7年元日で、地震発生から1年。被災地の報道も少なくなってきた
中、現在の被災地を知るためにも、本町が震災復旧で計16人を派遣した
石川県珠洲市の職員の方にお聞きしました。

Q. 地震発生当時は

どんな様子でしたか

A. 非常に激しい揺れにより、家屋
が倒壊し、道路の至るところでマン
ホールが飛び出していました。さら
に、川橋は道路との間に大きな段差
が生じており、渡ることでできない
箇所がありました(上の写真を参照)。
また、海側では海水が引き、津波
の予兆が確認されたため、たくさん
の方が市役所に避難されました。庁
舎内に多くの住民が押し寄せ、生き
るか死ぬかの狭間の中で、避難者が、
庁舎内に置かれていたひざ掛けや上
着を使い、寒さをしのいでいるなど、
非常に過酷な状況でした。

そうした中、地震発生直後から、
自衛隊や消防、ボランティア団体な
ど、たくさんの方の支援がとてもあ
りがたかったです。

Q. 被災地の現在は

どんな様子ですか

A. 水道や電気、ガスなどのライフ
ラインも少しずつ復旧してきた中、

令和6年9月に能登半島を襲った豪
雨により、さらに断水や停電などが
発生しました。それにより、まだ断
水が続いている所や仮設住宅への入
所が出来ていない方がいらつしやい
ます。

現在は、倒壊した家のがれきが
徐々に撤去され、空き地が増えてく
ると、遠くまで見渡せるようになり、
変わってしまった町の景色が広がり
ます。元の景色を知っている私たち
からすると、とても寂しい気持ちに
なります。

Q. 地震の経験から思うこと

A. 珠洲市は、地域住民同士の繋がり
が強く、日頃から近所付き合いや助
け合いが行われているような地域性
がありました。このため、復興に向
けても地域の力がワンチームとなり、
ここまで復興を進めることができた
と思っています。

これからも、地域一丸となり、復
興に向けて取り組んでまいりますの
で、もう少し復興が進んだら、ぜひ
遊びに来てください！



災害派遣で現地に行った町職員

1月15日から2月21日まで兵庫
大隊の一員として猪名川町は第1
3次派遣、全12人が被災地支援
に行きました。

地震により山ひとつが崩れてし
まった場所での捜索や、倒壊した家
屋から写真や思い出の物を探し出
したりしました。車が近くまで行く
ことができない場所への捜索は、雪
が降ると道が分からなくなるため、
現地では竹を3m程に切り道標にな
るよう立てながら徒歩で1時間以
上歩いて行き、人力で発掘作業を
行いました。もし、道が通れ重機
が入れていたとしても、どこに人が
いるか分からないため心情的に使
うことはできなかったと思います。



町消防本部
加東 麟 消防士

本町でも災害が起これば、山が
多いため土砂崩れの影響は大きい
と思われます。救助や支援物資の
供給など、道が通れなくなり撤去
しながら前に進むことになるため、
行きたくても行くことができない可
能性があります。そのため、ご自身
で備蓄品
の確保、
防寒対策
などが重
要です。



みんなの写真を紹介！

SNS 発信中！

@hyogo _ with _ sports ...



❤️ # アスリート派遣事業

@ns_snazora12200 ...



❤️ # 阪急バス杉生線

猪名川町公式 SNS をフォローしているアカウントで、「# 猪名川町を知ってもらおう大作戦」のタグ付けのある投稿の中から、素敵な写真を紹介します！

町公式 SNS はコチラ！
最新情報発信中！



Facebook @town.inagawa



Instagram @inagawa_official

町制施行 70 周年記念事業

ロゴマーク&キャッチフレーズの決定

町制施行 70 周年記念ロゴマーク&キャッチフレーズが皆さんの投票で決定しました。今後は 70 周年を盛り上げるために、このロゴマークを町の発行物やイベントなどで活用します。

ロゴマークとキャッチフレーズは誰でも利用できます。これらを活用して、町の 70 周年を一緒に盛り上げていきませんか。利用のルールなどは、町ホームページを確認してください。

ロゴマーク



作成者 小山 千里さん コメント

猪名川町といえば、大野山から見える星空！流れ星や惑星もモチーフとし、星空のように広がる未来を想像させるロゴマークを作成しました。

キャッチフレーズ

続く思い、やっぱり「い～な猪名川」！

作成者 藤重 達哉さん コメント

猪名川で生まれ育ちましたが、今でもたまに訪れます。そんな時、自然の多さなど「やっぱりいいな」と思えることが多く思い付きました。そしてこのまま 100 周年まで、その良さを保ってほしいと思い、このキャッチフレーズにしました。

住民提案事業の募集

令和 7 年度の町制 70 周年を機に、新たなまちづくりの出発点へと繋げることを目的に地域活動団体などがアイデアを活かして自主的に行う提案型記念事業（来年度実施予定）を募集します！

※採択事業へ必要経費を一部補助

▶ 申込期間 1 月 1 日～2 月 4 日

▶ 詳細はこちら



▶ 問合せ 企画政策課 (☎ 766 - 8711)

謹賀新年



議長 宮東 豊一



町長 岡本 信司

住民の幸せのために 全力で取り組む

新年あけましておめでとうございます。

皆様には希望に満ちた新春を晴れやかにお迎えることとお慶び申し上げます。年頭にあたり、町議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、夏のパリオリンピック・パラリンピックでは日本選手団の活躍に元気づけられ、10 月には本町出身の村上泰斗さんが、福岡ソフトバンクホークスよりドラフト 1 位指名を受け今後の活躍が期待される嬉しい出来事がありました。一方、石川県能登地方を襲った能登半島地震をはじめ、8 月の南海トラフ地震臨時情報発表や相次ぐ台風による記録的豪雨など自然災害に翻弄される一年でもありました。令和 7 年は阪神・淡路大震災から 30 年の節目を迎え、改めて穏やかな災害の無い平穏な日常を過ごせる尊さを感じております。

皆様のご家族、友人、ご近所など全ての住民の方が、安全に心豊かに過ごせることは、ご自身の幸せにつながるものと考えます。

本町では、春の桜や冬の星空など、まちの特徴を活かしたいながわ桜まつり、いながわ星旅など、様々なイベントが多くの住民の皆様のご尽力により開催され、住民の幸せとともに新たな町の魅力となって輝いています。

町議会では、住民の皆様が安心して暮らすことができ、輝き続ける町の実現を目指し、常に「住民の幸せのために」をモットーに、日々活動しております。

本年も全議員が一丸となって住民の生活を守り抜くため、全力で取り組んでいく所存であります。皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって輝かしい年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

町制施行 70 周年を 迎えるにあたり

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかで希望に満ちた新年をお迎えることと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、池畑菜々さん（U20 レスリング世界選優勝）、村上泰斗さん（2024 プロ野球ドラフト 1 位指名）、逢坂草太郎さん（世界陸上 5 位）を始めとする、猪名川町出身の若者がスポーツの分野で活躍され、たくさんの喜ばしいご報告をいただきました。これからも努力を続け、多くの人々に夢と希望を与える選手になっていただけるよう、ご期待申し上げます。

さて、本年は、猪名川町制施行 70 周年の節目の年です。これまでの歴史と伝統を大切にしながら、「続く思い、やっぱり『い～な猪名川』」をキャッチフレーズに、町全体が活気に満ち溢れるようなまちづくりを目指してまいります。同時に、持続可能な行財政運営を実現するために、健全な財政基盤の確立に努め、将来世代に負担を先送りすることなく、現実に即した計画と実行を進めてまいります。

私は、就任当初から「元気なまちづくり」を目指してまいりました。引き続き、住民の皆様との対話と連携を深め、共に歩むまちづくりを推進してまいります。また、皆様のご意見やご提案を大切にしながら、夢と実効性のある政策を実現し、住民の皆様が主役となるまちづくりを進めてまいります。

1 月 1 日で能登半島地震から 1 年。1 月 17 日には阪神・淡路大震災から 30 年が経過します。過去の災害を教訓に、防災に強いまちを目指した取り組みにも、引き続き取り組んでまいります。

最後になりますが、新しい年が皆様にとって輝かしい年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。